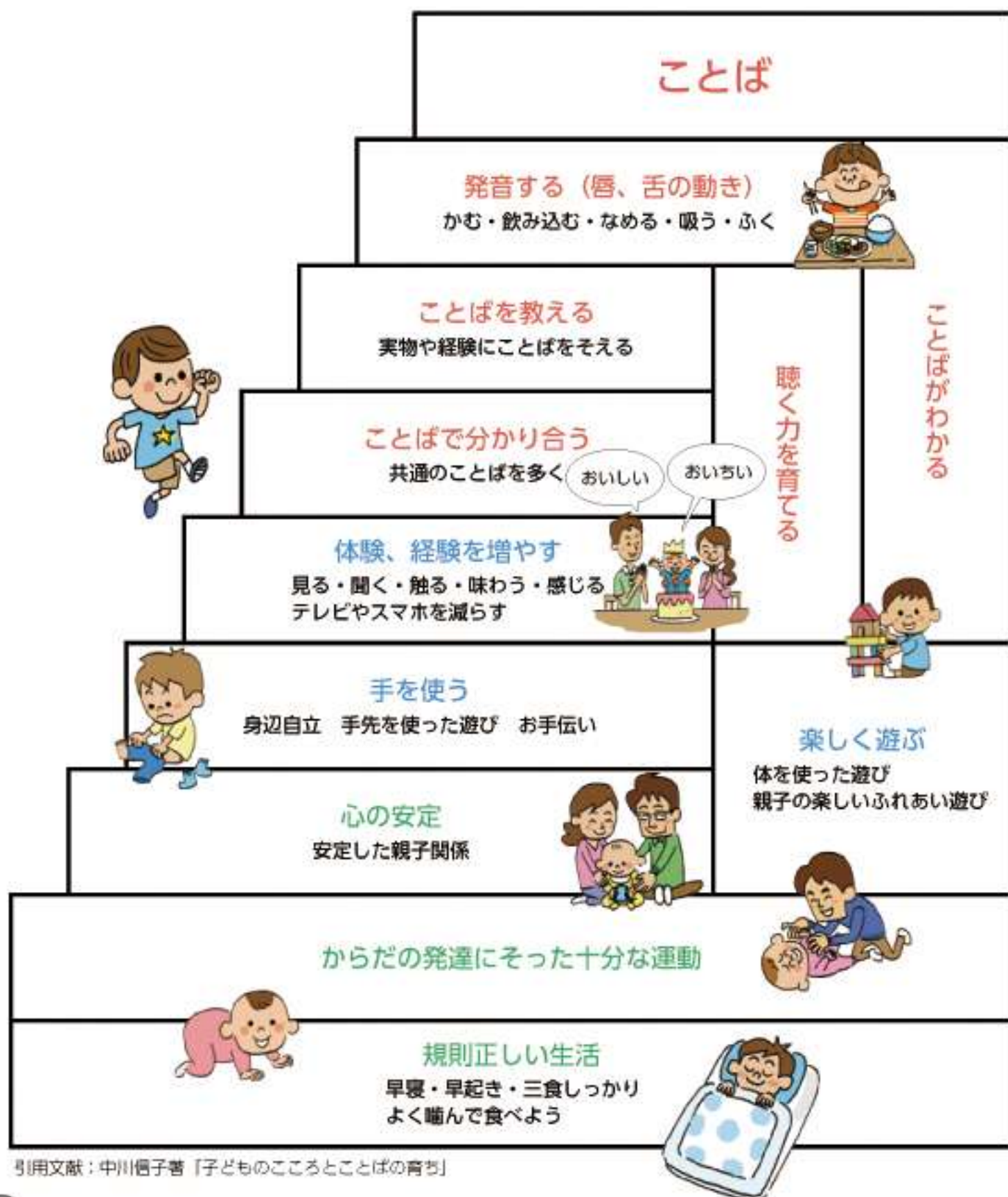


ことばについて

ことばが言えるようになるためには、何が必要なのかをビルで表しています。
ことばが言えるは、ピルの最上階！
ビルは、下の階から発達の順序を追って、積み上がっていきます。



引用文献：中川信子著「子どものこころとことばの育ち」

「ことばをかけて」「話しかけて」 って、どうするの？



① お世話しながら話しかけましょう

パンツをはかせながら、「はい、上手にはけたね」

② 体の動きに合わせて声をかけましょう

ごはんを食べさせながら「お口、あーん」「もぐもぐ」「おいしいね」「大きいお口が開いたね」

③ 擬声語、擬態語をたくさん使いましょう。

ボール遊びで「いくよ、コロコロ」「ポーン」



④ あいさつをしましょう

「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさま」

⑤ 動作の始まりや終わりにことばをかけて、区切りをつけましょう

「おもちゃ片づけよう、ごはんにするよ」「ごちそうさまでした。お皿を片づけようね」

⑥ こどもの興味にあわせて声をかけましょう

犬を見て「ワンワンだね、大きいね」「しっぽを振っているね」「かわいいね」

⑦ こどもの気持ちを口に出して言ってあげましょう

「痛いね」「○○したかったね」「上手にできてうれしいね」「困ったね」

